

意識が変われば社会も変わる!

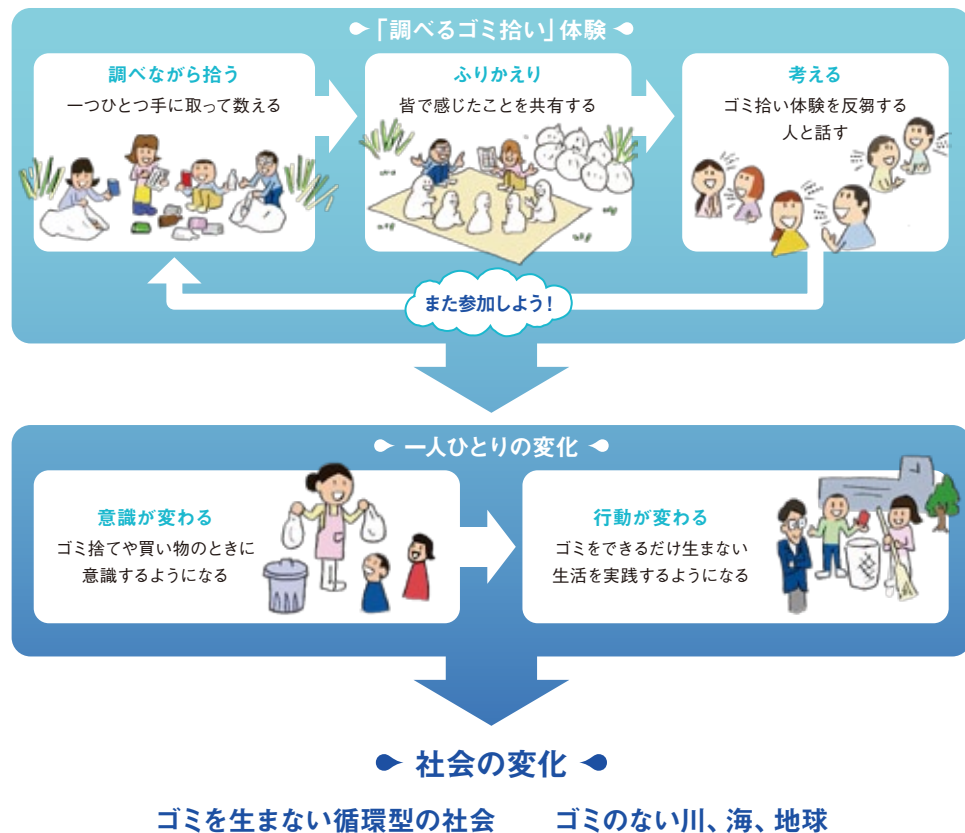
目の前の“現実”が人の行動を変える

では、どのようにして川ゴミに対する人の意識や行動は変わり得るのでしょうか。ニュースや人づてでわかることもあります、体験に勝るものはありません。一人ひとりが、川ゴミの現状を目の当たりにすることで、問題の重大性や、ゴミを生んでいる私たちの生活や社

会の仕組みに気づきます。そして、繰り返し参加することでさらに多くの気づきを得、「行動変容」に近づいていきます。

一人ひとりが意識や行動を変えていくことで、社会を変えようとする。それが「調べるゴミ拾い」なのです。

体験・学び・行動変容のサイクル



私も、私たちも変わりました!

横田 友子さん・桃香さん

——参加のきっかけは何ですか？

環境フェアで、荒川の自然を楽しむ"下平井水辺の楽校"と、そこで行われる"荒川クリーンエイド"のことを知りました。子どもは、ゴミ拾いが面白いようで、バツク観察のときも、「今日はゴミ拾いしないの?」としきりに聞いていました。

——参加後、日頃のゴミについて、行動や気持ちが変わったことは？

シャンプーなど詰め替え用を買う、水筒を持ち歩く、子どものお菓子を買うときもできるだけ個包装のないものを買うなどしています。



——活動を通して、お子さんにどうなってほしいと思いますか？

自分自身は、小さいときにあまり親に自然の中に連れ出してもらえなかったので、できる限り連れ出してあげたいと思っています。親の背中を見て、環境を意識するようになってほしいです。

荒川クリーンエイドや下平井水辺の楽校に参加すると、いろいろな年齢の子や大人と触れ合い、人との接し方、関わり方を学ぶ機会になるのも大きな魅力です。



参加者の声

河川ゴミの量や種類が想像以上で正直とても衝撃を受けた。

新入社員研修参加者

捨てるのは簡単だが元に戻すのは大変で、自分としては目を背けていた部分があった。

新入社員研修参加者

ゴミ拾いを続けていくことだけでなく、ゴミ自体を出さないようにしていくことが大切だと思います。生活の中でできることをしていきたいです。他の人にも現状を知ってもらうため社会に情報を発信していきたいと思っています。

個人で参加した方